

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 25 年 8 月 1 日 (2013.8.1)

【公開番号】特開 2012-138166 (P2012-138166A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-028
 【出願番号】特願 2012-96433 (P2012-96433)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/135 (2012.01)

【F I】

G 1 1 B 7/135 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光源からの光束が回折輪帯素子を介することなく入射する第 1 の面と、前記第 1 の面と反対側の光ディスク基板及び光ディスク内光透過層からなる光ディスクに対向する側の第 2 の面とを備え、専ら波長が 410 nm 以下の可視光の範囲において、前記レーザ光源からの光束を前記光ディスクに集光する開口数 NA が 0.84 NA 0.87 で、有効径 D が 1.8 D 2.45 mm である単レンズであって、前記第 2 の面は、光軸からレンズ外径に向かって、半径 h1、半径 h2、半径 h3 (h1 < h2 < h3) とした場合、半径 h1、半径 h2、半径 h3 での各サグ量を sag1、sag2、sag3 とし、各サグの変化量を sag1、sag2、sag3 としたときに、 $0 > \text{sag1} > \text{sag2}$ 、及び $\text{sag2} < \text{sag3}$ を満足する h1、h2、h3 が存在する形状であり、波長 405 nm での屈折率 n が 1.51 n 1.57 であることを特徴とする光ピックアップレンズ。

【請求項 2】

前記レーザ光源からの平行光に対して、前記光ディスク内の前記光ディスク内光透過層の表面から面間隔 0.0875 mm の位置で集光することを特徴とする請求項 1 記載の光ピックアップレンズ。

【請求項 3】

前記第 1 の面が連続形状であることを特徴とする請求項 1 記載の光ピックアップレンズ。